

ト★ 東星学園だより

TOSEI

東京都清瀬市梅園 3-14-47 TEL 042-493-3201 <http://www.tosei.ed.jp>

□ 西武池袋線秋津駅 南口 徒歩 10分 □ JR 武蔵野線新秋津駅 徒歩 15分

vol. 28

みらいの きみに あいにいこう

校長 大矢 正 則

夏休みの後半に、オンラインで私立小学校の合同入試説明会がありました。直前に事務局の方から、「貴校のキャッチコピーを10～15文字で提出してほしい」という依頼がありました。「あなたが入学する学校。そこがあなたにとって一番の学校です」が東星学園のキャッチコピーなのですが、これでは28文字もあり大幅な字数オーバー。Webサイトのトップページに載せている「真のあなたに出会う場所」ならちょうど字数もよいと思い、よしこれでいこうと、事務局の担当者にもメールを打ち始めました。

ところが、メールを打ちながら、何の前触れもなく、唐突に、「みらいの きみに あいにいこう」ということばを思いつきました。これなら空白を入れてちょうど15文字。ピッタリではないですか！ こういうのを「降りてきた」というのかもしれないね。

すぐにオンライン説明会当日を迎え、Zoomを用いた開催でしたので、ネットの向こうでは、それなりの方々の人数のリスナーがいることがわかりました。その方々には、私の顔も映し出され、声も聞こえているはずなのですが、こちらからはどなたの顔も見えませぬし、声も聞こえませぬ。反応がわからないので、私のスライドを用いた説明は、いつものように時間オーバーということもなく淡々と進み、持ち時間を10分も残して終わってしまいました。質問も、短時間で答えられるものが1件出ただけで、さあ、いよいよ時間を持て余しそうです。あ、そういえば、「みらいの きみに あいにいこう」というコピーに触れていなかった！

ところが、ここでもまた、なんだか降りてきたように、スラスラと話すことができました。そこまでの説明の中に、「あなたはあなただから大切」「あなたはかけがえない存在」「あなたにはどうしてもいてほしい」というこれまでの説明会でしてきた話はいつものように

したのですが、この日は以下のように続けました。

先ほど、私はどうしてもあなたにいてほしいと申し上げましたが、それは、たとえばあなたが世の中のすべての人から忘れられ、自分には居場所もないと思ってしまうほど、孤独でつらい毎日を送ったとします。もちろん、私はあなたがそのような思いをすることは望んでいませんし、苦勞は買ってでもしろ、などという世間の安易な言い種にも真っ向から反対です。しかし、人生というのはそう素晴らしいことばかりではありません。むしろ、人生の本番は死にたくなってからだということをどこかで読んだことがあります。そんなときにも人は歩いていかなければなりません。負けるとわかっている勝負にも臨まなければならないときさえあります。避けて通れないものは避けられないのです。そんなとき人は何を頼りに生きていけばよいのでしょうか。そんなときには、あなたは、未来のあなたに会うことだけを考えて生きていきさえすればよいのです。未来のあなたが、あなたを待っています。未来のあなたに会えるのも、たった一人、いまを生きるあなただけです。必ず未来のあなたに会いに行ってください。そうしないと、誰も未来のあなたには会えません。未来のあなたに会うことができるのはあなた一人だけなのです。あなただけが未来のあなたに会えます。未来のあなたもまた、他の誰でもないあなただけをずっと待っていてくれます。もしもあなたが、未来のあなたに会いに行っておけば、未来のあなたは、誰にも会えず待ち呆けてしまいます。やがてやってくるかつての自分に渡さなければと、あなたに用意されたまだ見ぬ希望を握りしめ、あなたをずっと待っているのです。一人ひとりのかけがえのなさとは、こういうことではないのでしょうか。あなたをたった一人で待っている未来のあなたの元に会いに行くために、あなたにしか歩けない、あなただけの道を歩いて行く。

「みらいの きみに あいにいこう」。

中学校・高等学校

第55回合唱祭

合唱祭委員長 高等部3年 S・M

7月12日に所沢市民文化センターミュージズ・マーキーホールにて第55回合唱祭が開催され、中高生が練習の成果を披露しました。今回も例年通り、中学生は音楽の授業内で練習してきた2曲を発表形式で、高校生は課題曲と自由曲の2曲で競うコンクール形式での開催となりました。コロナ禍で昨年までは学校内での発表や小さな会場での開催でしたが、今年はミュージズ・マーキーホールという大きな会場で開催する事ができました。

高等部の課題曲は新実徳英さん作曲の「聞こえる」でテンポや曲調が前半と後半で大きく変わり、それぞれのパートも非常に難しい楽曲です。練習にとっても苦勞しました。しかし、本番では3学年がそれぞれの個性を發揮し、曲に込められた思いをしっかりと表現できたと思います。

中学1年生は、私達高校3年生が小学6年生の時にお世話係を担当していた学年なので、知っている顔も多く、懐かしさを感じながら、緊張している様子が伝わってきて、微笑ましく見守っていました。中学2年生は、馴染み深くセンスも良い選曲で、楽しみながら聴くことができました。中学3年生は、毎回自分達らしい曲を披露してくれるので、他の学年にはない合唱を見せてくれました。高校1年生は、4月に入学してきた新しい仲間との初めての合唱祭で、緊張している感じがとても伝わってきました。高校2年生は、合唱団員など経験者も多く、

素晴らしい歌声でした。「最優秀賞を取られてしまうかもしれない」という焦りを感じながら聴いていました。

そして私達高校3年生は、進路の準備や受験勉強も重なり、練習時間を捻出するのが難しく、焦る気持ちやどうしても負けたくない負けず嫌いな気持ちが全面に出て、言い合いをしたり、衝突したりしてしまうことが多々ありました。本番直前まで上手くいかず、諦めの言葉が出てしまう時も何度もありました。それでも、私たちの強みでもある人数の多さや声の力強さを生かすべく練習を重ね、本番に挑みました。練習では上手くいかなかった事が本番では全て成功しました。本番に強い学年です。自信に満ち溢れ力を出し切ることができました。最優秀賞の学年として呼ばれた時は、安堵の気持ちと嬉しさで言葉が出ませんでした。

「スポーツ大会から合唱祭まで1位を取る!」という学年全員の夢を最後の年で実現できたことがとても嬉しかったです。先生方や仲間同士のサポートで目標を達成することができました。合唱や音楽が好きの人、苦手意識がある人、様々な人がいますが、この一喜一憂した経験がみんなにとって大きな宝物になることを願っています。



聖書朝礼委員会 夏期研修

聖書朝礼副委員長 高等部3年 U・Y

僕たち聖書朝礼委員は、7月30日にJICA横浜とカトリック山手教会を訪れました。それぞれの場所で移民や移住などの歴史や山手教会について学びました。今回の夏期研修でまず、海外移住資料館を訪れて、昔日本からどのぐらいの人が海外に移住してきたのか、当時の生活や状況などの展示を見学しました。展示物を見たり触れたり出来、当時のことについて深く学ぶことができました。特に印象に残ったのが戦時中の日系人の方々についてです。移住先の国々では、日本人移民は様々な苦勞を乗り越え、子孫が生まれてその国に根付いていった人々が日系人と呼ばれるようになりました。しかしその当時、戦争により多くの国が日本

の敵対国となったことで差別や強制収容など様々な困難に直面しました。そのような中でも戦後、敗戦し荒廃していた日本へ、北米だけでなく南米の日系人から多くの救援物資が送られたそうです。このことを知り、とても素晴らしいことだと感じました。

そして2つ目の訪問先としてカトリック山手教会を訪れました。そこでは、教会の人から山手教会のことや歴史についてなどの話を聞きました。さらに、普段は行くことのできない場所等へも入らせてもらい、とても貴重な経験になりました。

今回の夏期研修でJICA横浜 海外移住資料館とカトリック山手教会を訪れて、まだ自分が知らなかったことを知る良い機会になったと思いました。日系人や移民のことについて、さらに教会の中にあるものや歴史などを深く学ぶ機会にもなりました。

被災地ボランティア

宗教部

夏休みに福島県南相馬市での被災地ボランティアを実施しました。今年度は5年ぶりに、男女合同でボランティア活動と現地視察を行いました。参加者からの声をいくつか掲載します。

『今回被災地ボランティアに参加して、自分の目で街の状況や、いまだ手付かすの場所を見て、テレビで見る時以上の迫力、緊張感がありました。(中略) ボランティアを通して、正しい情報を知り、多くの人に広めることがどれだけ大切なことか改めて実感しました。南相馬の皆さんの温かさに触れ、たくさんのことを学ぶことができた4日間でした。(高1女子)』

『私は被災者ボランティアに参加した事で改めて災害

に備える必要性を実感する良い機会になった。中浜小学校を訪れ、実際に避難場所となった屋上に登った時には、ここまで津波が来なくて良かったと思う反面これ以上高い場所に行けない恐怖を感じた。他にも伺った話の中で、他の県に行きたくても福島の人だからという理由で差別を受けていた。そんな事が実際にあったなんて信じられないし信じたくなかった。(高3女子)』

『今回のボランティアで福島へ行って色々なものを見てくることができてとても意味のある4日でした。特に印象に残っているのは中浜小学校と大平山霊園で、周りが草地になっていて、そこにポツンと建物があって、後は1本の道路と防潮堤だけしかない景色が印象的でした。13年間、津波に攫われてから何も建たずに草地が広がっている光景を見て、少し恐ろしいように感じました。(高2男子)』

科学部

夏の校外活動 in 新江ノ島水族館

科学部顧問

科学部は夏休みに新江ノ島水族館に行ってみりました。

新江ノ島水族館は「イルカショー」や「クラゲの展示」、「皇族のご一家の生物研究の展示」などで有名です。部員たちも日常生活では見ることでできない水中の生き物たちを目の当たりにして興奮しておりました。特に日本最高峰と言われるクラゲの常設展に心を奪われ、幻想的な癒しの空間に浸っておりました。

もちろん、ただ見て楽しむだけでなく様々な生き物の生体や習性、また飼育方法や繁殖方法など多くのことを学んでいました。

是非、皆様もこの学園だよりをきっかけに水族館や博物館などに足を運んでいただければ幸いです。

余談ですが、毎年行っている夏の校外活動は部員たちが意見を出し合い行き先を決定します。気が早いですが、来年はどこに行くことになるのか楽しみです。



保健室より

養護教諭

年々猛暑日と呼ばれる日が多くなっていたり、新型コロナウイルスも季節問わず流行したりと、学校活動が難しくなる時が増えたような気がします。その中でもみなさん一人ひとりが工夫しながら学校生活、学習活動を行えているのは素晴らしいことです。

東星学園では、児童生徒による保健委員会の活動を通し、換気や手洗い呼びかけによる感染症予防、体育行事の熱中症やケガ予防など、季節や行事に合わせた活動を積極的に行っています。

夏休みが終わると、期末テストや体育祭、東星バザーなど、行事がたくさん控えています。暑さの疲れで体調を崩しやすい季節ですが、夏休みで乱れがちな生活のリズムを立て直し、整えていきましょう。

また、心と体はつながっています。悩み事、心配なことがある時、眠れなくなったり食欲がなくなったり、頭やお腹が痛くなったりと、心の問題が体の問題として現れたり、またその逆もあります。保健室はカウンセリングルームと隣接しており、カウンセラーと連携をはかりながら、みなさんの成長と学校生活のサポートをしていますので、誰かに相談したいとき、心や体が疲れてしまった時、いつでも保健室に来てください。

小学校 ひこうき大会

児童会担当

6月12日水曜日に今年で53回目となる、ひこうき大会が開催されました。ひこうき大会は切り紙や折り紙で作ったひこうきの飛行距離や滞空時間を競う大会です。50年以上続く東星学園小学校ならではの伝統的な行事で児童会役員の子どもたちと高学年の学級委員が中心となって当日までの準備、大会の運営、表彰状の作成を行っています。



1年生は初めてのひこうき大会なので、保護者の方と一緒に親子ひこうき教室に参加しました。子どもたちは折り紙ひこうきを作り、保護者の方々は切り紙ひこうきを作ります。大人も子どもも楽しめるのがこの行事の一番の特徴です。やはりお母さんよりもお父さんがはまってしまうようです。紙ひこうきも突き詰めると空力学ですから非常に奥が深いのです。

低学年は『おりがみキヨリの部』『きりがみキヨリの部』の種目



に参加し、誰が一番遠くまで飛ばせるか、飛行距離を競います。また8～8.5mのエリアに落ちたひこうきはピタリ賞となります。そして高学年は、『おりがみたいくうの部』『きりがみたいくうの部』に参加し、誰が一番長く飛ばせるか、滞空時間を競います。ちなみに保護者・職員も『きりがみたいくうの部』に参加することができます。

今年は天候が怪しまれましたが、ひこうき大会当日は晴天に恵まれ卒業生や東星学園小学校元職員にも参加していただき盛況となりました。記録も今年は例年よりもよく飛んでいたのではないのでしょうか。子どもたちも最後までひこうきを調整し、楽しそうに取り組んでいました。来年もたくさんの保護者、卒業生の参加をお待ちしています。

音楽会

音楽会委員

夏休み前の7月10日(水)、第7回音楽会が行われました。音楽会は隔年の行事ですが、2020年にはコロナ禍で中止、2022年はコロナ感染予防として形を変えて行いましたので、従来の音楽会の形に戻ったのは2018年からなんと6年ぶり、つまり全校児童がマスクなしの歌声を初めて聴く音楽会でした。午前中は小学生全員で聴きあう発表、午後は保護者の方をお招きしての発表です。

1年生は、学校生活にも慣れ、緊張しながらも一生懸命に発表する姿が初々しかったです。「アーメンハレルヤ」「虹」を歌い「フレンズ」では図工の時間に作った楽器の音も加わりました。2年生は元気いっぱい、歌だけでなく、ミニキーボードを使って「キラキラ星」「かえるの合唱」を披露しました。3年生はさらに力強い歌声で、「夕日が背中をおしてくる」「笑顔がかさなれば」を歌い、リコーダーで2曲発表しました。休憩をはさんで、4年生の発表です。「山のスケッチ」「友だちになるために」をはつらつと歌います。身体も大きくなり、芯のある声の響きにぐいぐい引き込まれます。普段はおとなしいあの子が、やんちゃなあの子が、こんなに生き生きとした表情で歌うんだ、いつもは気づかない子どもたちのいろんな発見があります。5年

生からは2部合唱です。なんて声が揃っているんだろうと、聴いていて気持ちのよい歌声でした。「箱根八里」「気球にのってどこまでも」懐かしい曲、でも爽やかな風を運んでくれました。そして6年生、落ち着いた歌声です。リコーダー「君の笑顔」の速いメロディーラインが見事、さすがは6年生です。

このように1年生から6年生まで順番に聴いていくと子どもたちの成長がはっきりと感じられます。その学年の良さやカラーもわかります。午前の部の最後は、教員の発表もサプライズでありました。有志によるリコーダーアンサンブル、途中にバイオリンの音色が重なります。「大切な命」「心の瞳」の合唱、私たち教員も放課後に練習を重ね、子どもたちに心を込めて歌を届けました。歌っていいな。音楽って心がわくわくしたり、じーんとなったり、本当に素晴らしい！と改めて感じます。たくさんの保護者の方に聴いていただき、子どもたちも嬉しい一日となりました。



修学旅行

修学旅行引率

今年度の6年生の修学旅行、行き先は長野県湯の丸高原です。スキー教室で宿泊していた宿舎で、冬の様子は職員もスキー教室に参加した児童も思い浮かべることができますが、夏に行くのははじめてです。今まではゲレンデで一面銀世界だったところが、高地トレーニング施設として整備され陸上のトラック、競泳用の屋内プールなど、いつも行っているところの全く違う一面を見ることができました。

6年生は一昨年は宿泊行事に制限がされていたため代替遠足、昨年の夏期学校で二泊三日を経験し、今回の修学旅行を迎えました。標高の高いところなので、高山植物や森林限界、浅間山の噴火によってできた鬼押し出し園等事前学習をして臨みました。

初日の昼食を鬼押し出し園で頂きました。今回は園内の食堂でお弁当を食べ、園内を一周しました。他では見られない「鬼が押し出したような」溶岩に驚いていました。ヒカリゴケなど希少な植物も見ることができました。その後、鎌原観音堂へ向かいます。火山の噴火により壊滅した様子を資料館と観音堂でガイドさ

んから説明を受けました。みんな熱心に聞いていた姿が印象的でした。

二日目の池の平散策は、長く起伏のあるコースをしっかり歩きたい子向けの「ハードコース」と、距離は短く、途中でスケッチをしたり俳句を考えたい子向けの「ソフトコース」に分かれて実施。ここでも事前学習の成果が見られ、口々にこれは〇〇だ、ここに〇〇が咲いている、と高山植物を見つけながら雨に降られることなく湿地を散策することができました。

三日目は湯の丸山登山。昨日は曇り空で雨の心配もありましたが、この日は晴天。高地とは言え、真夏の強い日差しの下での登山でしたが、無事全員登頂できました。頂上付近の一带は一面灰色で板状の岩と石だらけでした。下山のときには、冬場ゲレンデとなっている斜面を歩いて下山します。駆け降りたくなる気持ちを抑えて、凹凸や段差に気を付けて下りました。

行事の度に、小学校生活最後の、となる6年生。宿泊行事を無事終わりました。宿舎での生活は、例えば入浴では、お風呂係を中心に、時間になったら声をかけあい、浴室や脱衣所もきれいに忘れ物もなく、さすが6年生と感じさせる修学旅行でした。小学校生活のよい思い出とするだけでなく、修学旅行で培ったことを日常生活でも活かしてもらいたいと思います。

夏期学校

夏期学校引率

7月29日(月)～7月31日(水)、4～5年生は富士山麓の山梨県鳴沢村にて夏期学校を行いました。

バスに乗り、まず最初に向かったのは「富士花鳥園」です。ここでは様々な種類の鳥が生息していて、フラミンゴなどと触れ合ったり、様々な種類の鳥の観察ができました。特にバードショーが圧巻。係の人の指示に合わせて鷹が頭上を滑空、子どもたちはびっくり。

宿舎に戻り、初日の夜は宿舎周辺を歩き、星空観察。都会では見られない、空気の澄んだ夜の星空に心奪われた時間でした。

2日目は朝食の後、富士山5合目までバスで行き、レストランにて昼食「富士山カレー」を食べた後、3グループに分かれて富士山お中道巡りに出発。

ガイドの方に、溶岩流出の過程や植物などの説明をしていただきました。途中雨に降られましたが、子どもたちは坂道を歩きながら、終点までたどり着きました。

宿舎に戻った後は、いよいよスイカ割り。事前に決めておいた班の代表がスイカ割りに挑戦。「右！左！」「まっすぐ！」などと声を掛けられ、5個のスイカを割ることができました。そのあとはみんなで美味しくスイカをいただきました。

夜になり、お楽しみのキャンプファイアーは「ジャンケン列車」「猛獣狩り」等のゲームで盛り上がりましたが、ここで再び雨に。キャンプファイアーは途中で終了。2日目が終わりました。

最終日。朝食の後、感謝の気持ちを持って宿舎の方にお礼をしました。バスで出発の後、程なくして鳴沢氷穴に到着。氷穴の中は狭く、そして気温もぐんと低いため、長袖をはおっての見学。その後、青木ヶ原樹海を歩きました。それから昼食を食べ、一路学校へと向かいます。

2泊3日の夏期学校を終えて、子どもたちの大きな成長を感じました。

9月からの学校生活、この夏期学校の体験を生かし、充実した学校生活を送ってもらいたいと思います。



幼稚園

最初で最後の体験

幼稚園職員

7月の終業式の翌日、今年初めての試みで「お泊まり会」をしました。普段降園する時間に登園し、翌日の登園する時間に降園したのです。集まるなり子ども達はハイテンション！事前に決めたタイムスケジュールを把握しどんどん準備を進めていく姿に、この1泊2日への強い思いと、期待がうかがえました。

子ども達のお泊まり会は、1か月前の準備段階から始まっています。「寝るところはどこにする？」「ごはん何食べる？」「プールはいりたい！」「花火したい！」「虫捕りしたいよ！」「アイスも食べよ！」「スイカわりしようよ！」やりたいことは尽きません。私たち職員は、できる限りのやってみよう！を実現しようと話し合いを重ね準備を進めていきました。

さて、子ども達の話し合いと言っても、「やりたい！やりたい！」「やだ！やだ！」の自己主張の連呼。自分の意見を言う、相手の話を聞く、折衷案を見つけるにはほど遠く毎回言いたい放題なのです。15分もすれば話し合いにも飽きてしまうので、文字に興味を沸いていることもあり、紙に書いて見える化しながら話をまとめていきました。日々短時間ずつを繰り返していくうちに、子ども達もお泊まり会というものごんごんものか理解をしていきました。

日が近づくにつれ、子ども達にわかりやすい準備が始まりました。まずは2階に寝室作り。みんなで掃除をし、布団を敷く部分に、ジョイントマットを敷き詰



めました。黒い画用紙を繋げて、天窓を塞ぎ朝日が差し込むのを防ぎました。職員からのサプライズ企画「星空作り」では、子ども達と粘土遊びをし、たくさん

のおだんごを作りました。実は、蓄光粘土。天井にたくさんぶら下げ、満点の星空を用意しました。

夕食と朝食の買い出しは、3日間に分けて行ってきました。油、牛乳など重いものから、卵やパンのように持



ち運びが難しいものも、全て子ども達の手で揃えました。メニューからどの食材を用意するべきかも、学ぶことができました。単に行事を楽しむのではなく、行事をより深く楽しむために準備段階を最も大切にしています。

こうして迎えた当日。楽しくないはずがありません。プールに入り思い切り遊び、みんなで泡だらけになってシャワー浴をしました。お散歩がてら、近くのお店に食後のアイスクリームを買いに行きました。とにかく一番大きいアイスを手にする子、可愛い入れ物のアイスを選ぶ子、個性がでて面白かったです。夕飯はカレーにたこやき！お腹いっぱい食べました。夜のお楽しみは花火。小学校、中高の先生方にお手伝いいただき、噴き出し花火を堪能。真っ暗な園庭に光が散ると子ども達から歓声が上がりました。



就寝時間が近付くと、お手伝いの先生方もお帰りになり、子ども達は帰りたくなるかな？泣き出す子はいるかな？と覚悟をしていたのですが、この通り。大矢校長が園舎内に一緒

に泊まって下さり、子ども達は「これ読んで！」「これも読んで！」と校長にべったり。3冊の絵本を同時に読み進め、歯磨きを促す姿はなかなか見られません！誰一人寂しくなることもなく、そのまま就寝。あっという間に朝を迎えました。

全員がすっきり目覚めた朝、大矢校長が早朝に捕まえてきてくれたカブトムシをこねくり回し、みんなの広場に逃がしに行きました。園庭に出るといつもの守衛さんがいらっしや



いました。「ねえねえ、僕たち幼稚園に泊まったんだよ！泣かなかったんだよ！みて、これカブトムシ！触れるよ！」とすぐさま報告。自信と達成感に満ち溢れているようでした。

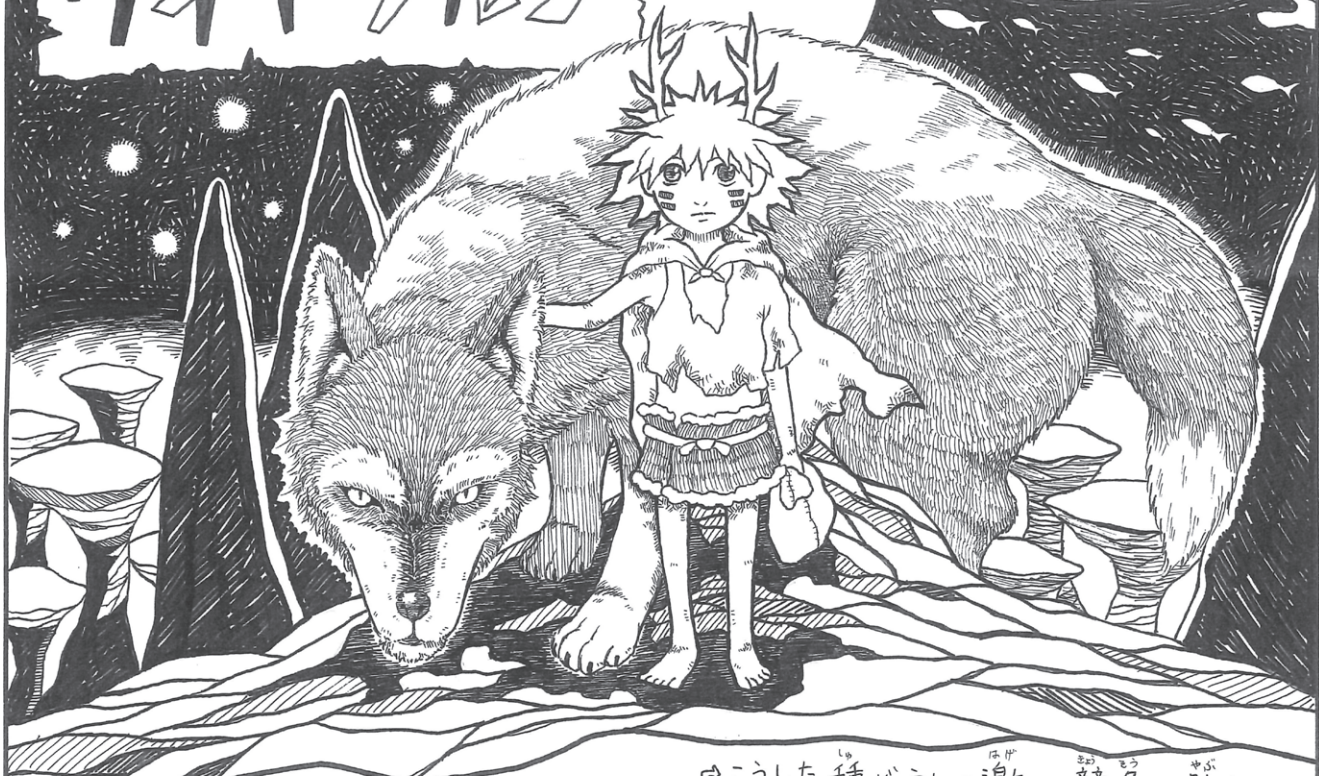
今回のお泊まり会は、単に幼稚園に泊まっただけではありますが、おうちの方と離れ仲間と過ごすことはなかなかできない経験でした。見たことのない暗い園舎内で体を寄せ合ったこと、朝早くみんなの広場でカブトムシを逃がした時の林の匂いなど、心の中に良き思い出として残ってくれたら嬉しいですね。私たち幼稚園職員も、校種を超えた協力をいただき、子ども達と東星職員と素敵な時間を過ごせたことに深く感謝いたします。

命運の選択肢って
 しても大事!!
 どうせいキッズ 職員

分類: 哺乳綱食肉目イヌ科
 全長: 1.5~2m
 推定体重: 90kg
 生息域: 北アメリカ、南アメリカ北部
 絶滅: 約1万年前

恐怖の古代のオオカミ!!
ダイアウルフ

楽しく生きるを選ぶ
 ことはとても難しいことと思っ
 ています。悩める子羊がっし。です。
 選択肢の多い人生とはそれだけ
 生き方も選べるということです。顔立ち
 が整っているだけでも良き選択肢の多い
 人生を、高学歴ならより多くの職業の
 選択肢を。人生の選択肢を増や
 すには若い内にどう生きる努力が
 必要かを選択しないです。ね。
 今回は選択ミスで絶滅して
 しまった話です。



ダイア(dire=恐ろしい)という名にふさわしい生態系
 のトップにいた大きなオオカミ。イヌ科動物としては
 史上最重量級!!(ヤベ-)ハイエナのように大きな
 群羊をつかって体重600kgもあるバイソンなどを狩って
 いたそうです。そんなダイアウルフがなぜ絶滅して
 しまったのでしょうか...。まずライオンヤスミロドンにヒ
 などの強力なライバルが存在していたことが大きい。

こんな種どうしの激しい競争に、敗れて
 しまったと考えられる。他にも短距離ランナーで
 あったダイアウルフは体力的にも足の構造的
 にも、長距離の狩りに向いてなかったのかもしれない
 とも考えられています。絶滅の理由は
 まだナゾだらけだけど、強大な肉体をもつもの
 が必ず生きれるとは限らない...ダイアウルフは
 生きる選択肢が違っていたら絶滅をしな
 かったかもしれない...そんなオオカミの話でした。

広 報

本学園の広報活動についてお知らせいたします。

【小学校】

- 第1回 入学試験 (A日程) 11月 1日 (金)
- 第1回 入学試験 (B日程) 11月 2日 (土)
- 第2回 入学試験 11月16日 (土)
- 第3回 入学試験 12月15日 (日)
- 第4回 入学試験 1月11日 (土)

【中高部】

- 第3回高校学校説明会 11月30日 (土)
- 公開授業期間 11月 1日 (金)、
5日 (火) ~ 7日 (木)、
12日 (火) ~ 14日 (木)
- 公開授業日 11月 2日 (土)
- 第3回中学学校説明会 12月 7日 (土)
- 中学入試体験・解説会 12月 7日 (土)
- ~入学試験~
- 高校推薦入試 (A 推薦) 1月 22日 (水)
- 高校推薦入試 (B 推薦) 1月 23日 (木)

学園行事予定 (2024年10月~2025年1月)

	中学校・高等学校	小 学 校	幼 稚 園
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期始業式 ・赤い羽根共同募金 ・体育祭 ・高1・2学力テスト ・東星バザー 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期始業式 ・体育祭 ・東星バザー 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足 ・東星バザー
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習 ・学習参観・学級懇談会 ・中間テスト ・中学学習旅行 ・高校学校説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回入学試験 (A日程) ・第1回入学試験 (B日程) ・1~3年生遠足 ・6年生懇談会 ・第2回入学試験 ・授業参観日 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも収穫 ・七五三のお祝い会 ・冬野菜収穫
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・中学GTEC ・中学学校説明会 ・中学入試体験・解説会 ・高等部学習旅行 ・入試相談期間 ・終業日/クリスマス会 	<ul style="list-style-type: none"> ・1~5年生懇談会 ・第3回入学試験 ・クリスマス会、終業日 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロウソク点火の集会 ・聖ニコラオのお祝い会 ・クリスマス会 ・2学期終業式
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・始業日 ・高1学力テスト ・高2模試 ・高校推薦入試 ・英語検定 ・中学学力テスト ・漢字検定 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業の集い ・第4回入学試験 ・低学年朗読大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・身体測定 ・食育出前講座

園児・児童・生徒の活動報告

【表彰】

- 第121回 清瀬市春季市民卓球大会
優勝 6年 W・M
準優勝 5年 W・H
II部リーグ (3位4位トーナメント)
優勝 6年 T・J

- 第61回 清瀬市夏期青少年卓球大会
小学生 男子の部 優勝 5年 W・H
小学生 女子の部 準優勝 4年 I・K

- 第40回 わんぱく相撲清瀬場所
関脇 6年 W・M

秋のお彼岸が過ぎ、過ごしやすくなってきました。

これから学園は、様々な行事を控えています。どの行事も充実したものとなりますように。

(編集担当)